

# 議会だより



令和4年度 一般会計補正予算	ページ 2・3
一般質問(地域づくり他を質す)	5~10
モニターアンケートにお答えします	12
あの時のあの質問どうなった	14
新しい町づくりへ 私の提案	15

「たすき」を繋ぐ  
市町村対抗駅伝「町の部 優勝」  
関連記事16p

発行／長野県飯綱町議会 編集／議会報編集調査特別委員会 発行責任者／渡邊 千賀雄  
〒389-1293 長野県上水内郡飯綱町牟礼2795-1 TEL026-253-2511

令和4年6月30日現在 人口10,656人(97.6%)／男5,246人(97.8%)・女5,410人(97.3%)  
世帯4,238(100.3%) ※うち外国人世帯29(96.7%) ( )内は前年比率

# 一般会計補正予算3・4号合わせて 7187万2千円を増額

## 町債2300万円の増額は、過疎対策として認められる事業に 過疎債を充当し財源調整したもの

●6月定例会は、6月1日から17日までの17日間の日程で開催された。

●提出された議案は、報告3件、条例2件、補正予算2件、その他2件で審議の結果すべて原案どおり可決した。

●一般質問には、5人が立ち、町の行政執行を質すとともに、施策の提案を行った。

**飯綱町不法投棄監視連絡員設置条例を廃止する条例**

例 — 可決

現行では監視員を置いておらず、業務委託により回収を含めて対応している。現状の条例には、回収の定めがないなど、現行と不具合な面があり廃止とするもの。

**飯綱町災害時避難行動要支援者支援に関する条例の一部を改正する条例**

— 可決

社会福祉協議会を関係支援団体に加えると共に、関係の要支援者登録申請書兼登録台帳の様式を変更するもの。

(常任委員会での質問)

**質問** 必要とする医療機器等、個別対応しなければいけない方への対応は。

**回答** 今後、個別避難計画を社協と協力して準備する予定。

**工事変更請負契約の締結について**

— 可決

鳥居新橋修繕工事に使用するボルトの納期遅延に起因し、寒中養生を増としたもの。既設塗装に対応した仮設工事を増としたもの。

・契約金額  
変更前 5500万円  
変更後 5989万5千円



▲この部分に使うボルトの納期遅延

**飯綱町過疎地域持続的発展計画の変更について**

— 可決

・変更理由  
過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の追加公示に伴い、飯綱町全域が「全部過疎」に指定されたため、飯綱町過疎地域持続的発展計画を変更するもの。

・主な内容  
「全部過疎」に指定されたことに伴う記載内容の変更及び事業の修正追加。

・計画区間  
令和3年4月1日～8年3月31日までの5年間。

過疎地域とは、人口の著しい減少に伴って地域社会における活力が低下し、生産機能及び生活環境の整備等が他の地域に比較して低位にある地域。総務省が過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法により原則として市町村単位で指定するが、平成の大合併前の旧市町村の区域に限定して指定することもある。

### 補正予算

令和4年度一般会計補正予算(第3号) — 可決

既定予算に6696万3千円を増額し、総額を7億6816万6千円とするもの。

#### 主な歳出

##### 総務費

雪害を受けたいびづなコ

ネクトイースト体育館屋

根や三水書庫の屋根修理

775万円

##### 商工費

住宅リフォーム支援事業

700万円

雪害を受けた霊仙寺湖テ

ニスコート管理棟修理費

1010万9千円

##### 土木費

焚荒地区の土地造成のみ

の計画を住宅1棟の買取

費用を含めたものに変更

2700万円

##### 消防費

ハザードマップの更新

400万円

##### 教育費

雪害を受けた教員住宅の

修繕

176万円

ふれあいパークグラウンドの夜間照明をLEDに更新 800万円

主な歳入

国庫支出金

社会資本整備総合交付金の追加分 850万円  
ハザードマップ更新分 200万円

繰入金

子育て応援基金の繰入金 ▲1830万円(過疎債の充実に伴う財源振替)

諸収入

公有建物災害共済金 1663万8千円

町債(2300万円増額)

6610万円(過疎債)

繰越金

3083万8千円

令和4年度一般会計補正予算(第4号) 可決

既定予算に490万9千円を増額し、総額を78億7307万5千円とするもの。

主な補正内容

原油価格・物価高騰等に係る緊急支援として、児童扶養手当受給者である低所得のひとり親世帯並びに令和4年度分の住民税均等割が非課税の子育て世帯を対

象に、児童1人当たり一律5万円の支給を行う事業に対する費用を補正するもの。

歳入

国庫支出金

児童福祉費国庫補助金 457万6千円

県支出金

長野県ひとり親世帯臨時特別給付金事務費補助金 33万3千円  
合計490万9千円

歳出

民生費

児童福祉一般事務費 33万3千円

低所得子育て世帯生活支援特別給付金 457万6千円

請願・陳情

国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情 不採択

陳情者 海事振興連盟会長 衛藤征士郎

「海の日」は海の恩恵に感謝するとともに、「海洋国日本の繁栄を願う」ことを趣旨として平成7年に制

定され8年から施行されているが15年以降、いわゆるハッピーマンデー制度により、「7月の第3月曜日」になり、毎年その日にちが変動する祝日となった。「海の日」を7月20日に固定化する意見書を採択し内閣総理大臣に提出を求める陳情書。

討 論

本会議では討論なし。  
常任委員会では、2名が反対討論を行った。

反対討論の内容

ほかの祝日も第2や第3月曜日に移動し連休になっただけ7月20日に固定する必要がない。できるだけ連休にすべき。



令和4年第2回臨時議会 5月17日開会

令和4年度一般会計補正予算(第1号) 可決

既定予算に60万円を増額し、総額を77億1560万円とするもの。

主な補正内容

歳入

子育て世帯臨時特別給付金給付事業 60万円

歳出

子育て世帯臨時特別給付金給付事業負担金、補助及び交付金 60万円

主な補正内容

歳入

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 4341万千円

デジタル田園都市国家構想推進交付金 2733万5千円

歳出

病院施設費 500万円  
・ 商工振興対策事業 2890万円  
・ DX推進費 5467万千円

訂正

前号の予算のページで誤りがありましたので訂正します。

2ページ下段「町債現在高と基金現在高の推移」の表中、町債の企業小計の行でR3見込みの列の5171は誤りで、5717が正しい数字です。尚、単位は百万円です。お詫び申し上げます。

令和4年度一般会計補正予算(第2号) 可決

既定予算に8560万3千円を増額し、総額を78億120万3千円とするもの。

臨時議会

常任委員会



# 地域づくり他を質す

## 中島 和子議員

地域コミュニティ 活性化へ取組の強化を

## 石川 信雄議員

ウクライナ避難民受け入れを

## 中井 寿一議員

人口増アクションプランは

## 伊藤 まゆみ議員

- 1 破損した太陽光パネルの対応は
- 2 安心して子育てできる環境の整備を

## 瀧野 良枝議員

農用地保全 活動発展のため中間支援組織を

- 一般質問は、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求めるものです。
- 一般質問の詳細については、ホームページ、議事録でご覧になれます。
- 一般質問の原稿は各議員が責任をもって編集しています。



一般質問

## 傍聴席



諏訪戸 浩さん  
(北部高校教諭)

北部高校では、本年度より3年生の選択科目として「地域の課題探究」を新設しました。学校が立地する飯綱町の現状と課題についての学び、北部高校生としての意見表明を地域に向けて行うことを目標としています。

学習の一環として、6月3日の町議会一般質問の傍聴をさせていただきました。傍聴した生徒の感想です。

「初めて議会を見て、いろんなことを勉強させていただきました」

「こういう機会がなかったもので、議会がどのような様子かを知ることができました。飯綱町を良くしようとしている気持ち伝わってきました」

## 地域の課題探究

「話されていることが少し難しかったけど、聞いていくうちに飯綱町のことがわかって良かったです」

「農村RMOについて今後どのようなアイデアが出てくるのか興味を持ちました。私たち若者もSNSなどを通じて町の良さを伝えていきたいと思いました」

議会の「生」の姿に接した今回の経験を、今後の学びの深化につなげたいと思います。

北部高校生の議会傍聴にあたり、議会および役場の皆様、一般の傍聴の方々に、様々なお心遣いをいただきましたことに感謝申し上げます。

地域コミュニティ

# 活性化へ取組の強化を

## 町長の町の存続に向け精一杯努力する



中島 和子議員

**地域再生、今求められることは**

**中島** 地域活動の脆弱化が懸念される中、持続可能な地域コミュニティ形成へ町の見解は。

**町長** 地方の役目は絆を育てることが必要不可欠。行政では、地域の実情に応じた話し合いから、それぞれの指針を出していくことと、誰もが同程度の生活基盤を整え、平均的な生活水準を維持できる貧富格差の解消が大事。存続に向け精一杯努力する。

**集落創生事業の進捗状況は**

**中島** 集落活性化策として町が実施する集落創生事業の取組状況は、50集落の内16集落に留まる。未実施地区や停滞地区の調査とサポートを。

**企画課長** 担当課が地域代表者に現況を聞き取りしながら、集落活性化が一步でも前に進むように支援していく。



▲全町での取組を期待したい集落創生事業(奈良本地区の会議の様子)

**中島** 集落創生事業の今後の財源確保と支援は。

**町長** 町が単独で対応している事業である。今後も町の判断で議会に諮りながら実施していく。小規模地区の人材不足もあり、もう少し広域単位での取組も考えたい。

**中島** 事業終了後における活動の持続性と活性化など全体的な評価は。

**企画課長** 地域からは、今

一般質問

まで関わりが薄かった女性や若者に地域への愛着心が生まれ、コミュニティの強化に繋がったと聞く。

住民が集落活動を自分事と考え、当事者意識が芽生えたことに町は高く評価している。

自分達で行っていく活動の積み重ねが地域の誇りを取り戻し、持続可能な地域づくりに繋がると考える。

**移住者と良好な関係づくりを**

**中島** 集落ではある程度、自治組織などローカルルールの理解をいただき、円滑な関係を築きたいと考えている。窓口での対応は。

**町長** 現在は最低限の連絡事項をしている。電子社会が進む中ではあるが窓口でも研究をしていきたい。



▲移住定住支援サイト(HP)「声掛け合う飯綱町」のアピールを

**中島** 地域住民の安全を地域で守るためにも自治組織は大切だが。

**総務課長** 住民同士の親睦、交流が生活環境の維持に繋がる。住民自治組織へ加入の呼びかけは、中々必要性を理解してもらえないと聞く。町では、区・組の代表者の意見を聞きながら、加入を呼びかけるパンフレットの作成が必要ではないか考えていく。

**中島** 集落での良好な関係づくりが定住にも繋がるのでは。

**町長** 関係性を育てていくのは地域の皆さんであり、その導入サービスが行政である。住民との知り合う場を多く設定して、最終的には地域活動に参加してほしいと考える。

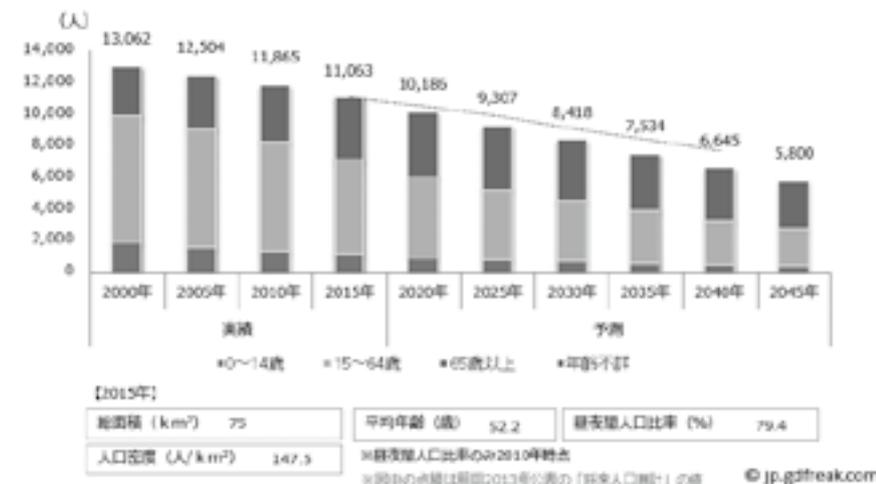
# 人口増アクションプランは

## 町長 年間50人減になるなら良しとする



中井 寿一議員

飯綱町の人口推移



▲飯綱町の人口推移(出典:GD Freak)実績データが2015年とちょっと古いです。人口減に歯止めは掛かっていないものの、2020年の実績値はこのグラフの推計値より上回っている。

中井 過疎計画では年間55人の社会増、予算

町長 44世帯は、予算的に最大限の合併に伴う費用が嵩んだ。今後、過疎債を用いた町営賃貸住宅の建設、民間事業者への補助による建設促進を図る。

人口増の目標を  
中井 自然減、社会減は。企画課長 令和3年、自然減130人、社会減12人。中井 令和8年の飯綱町の人口100000人は目標か、推計か。  
企画課長 目標である。  
中井 推計は。  
企画課長 令和7年で93

07人。目標は、国勢調査の推計よりプラス3000人の予定。  
賃貸建築数の増を  
中井 町営住宅は、若者向け住宅も含め15年間で44世帯。少な過ぎないか。約半分が転入ということなので年間6〜7人しかない。

中井 飯綱町の究極の目標、

町長 教育は、飯綱町の売りというご意見だが、様々な施策の結果として高い評価をいただいている。住宅環境の整備が必要と感じているが、教育目的の移住を特に優先する予定はない。

町営賃貸の公募は、正月過ぎ。タイミングが合っていない。

中井 町内のフリースクールが目的で長野市に引っ越してきた方に尋ねた。飯綱町に適切な物件が無かった。

売りの教育が人口増に繋がっていない

付けは。  
町長 町営賃貸住宅は、年間2棟。足りない部分は、民間に期待する。  
自然減100、社会増50なら許容範囲。



▲15年経った福井団地の若者向け住宅。未だに満室が続いている。

最上位の目標は。  
町長 町民の安全と幸せと思う。  
中井 違うのではないか。人口増ではないか。このまままっくとけば、飯綱町は消えて無くなる。  
人口増が最上位で、その下に各目標がくると思わないのか。  
町長 全く思わない。様々な施策の結果として人口増になるのであればそれでいい。

# 農用地保全

## 活動発展のため中間支援組織を

### 町長 実動部隊として必要。組織を検討



瀧野 良枝議員

#### 地域運営組織の 設立支援を

**瀧野** 町の集落創生事業は、一過性で終わらせない仕組みが重要。事業をきっかけに育った地域内の自治の芽を生かし、他団体と連携した多機能で持続可能な地域運営組織（RMO）へ発展させる可能性は。

**町長** ネットワーク化が今の時代には大事。集落創生事業は一定の評価をし、事業のあり方、終了後のケアも含めて検討が必要。

**瀧野** 国では農用地保全活動や農業を核とした経済活動にプラスして、地域の生活支援活動を連携して行う農村型地域運営組織（農村RMO）の形成支援が示された。町の考えは。

**産業観光課長** 大変良い取組のため側面支援をしたい。

#### 中間支援組織の 設立は

**瀧野** 中山間地域等



直接支払制度、多面的機能支払交付金の課題は。

**産業観光課長** 高齢化による人材不足、取組の停滞が危惧される。交付金を効果的に活用するためのアイデアや活力も不足している。

**瀧野** 取組のない集落や、加算制度に取り組もうとする集落の活動発展のため、中間支援組織の形成支援を。

**町長** 大事な提案。県の間管理機構まで大きくなくとも、土地利用の仲介をす

#### 一般質問

る組織が実動部隊として必要。

#### 意欲をいかす 場づくりを

**瀧野** 住民企画提案制度、まちづくり活動支援事業をプレゼン形式にして、行政との連携による取組の深化や、発表者同士の横の繋がりを形成を。行政のメリットは、人的情報、地域資源の発見に繋がる。住民の内発的な意欲を埋もれさせず育てていくための場づくりを。

**企画課長** 住民と直接触れ合い計画を聞く体制を整えたい。

**瀧野** 地域は「話し合い」の機会が多く求められている。負担感軽減と実りのある話し合いのため、以前提案したファシリテーターの導入を。

**企画課長** 住民、協力隊員、町職員など技術を身につけて地域に貢献できる貴重な人材になれる。研究したい。

#### 若者会議に 期待するものは

**瀧野** 小布施町の若者会議は、参加者が本気で自身の自己実現を求めている点が単なるイベントで終わらせない仕掛け。町の手法と効果は。

**町長** 従来通りのやり方の提案を出して終わりという会議ではなく、一緒に事業を進め、行政が評価し、さらに若者から次の世代に繋げ、新たなチャレンジにしたいだけのような会議を期待。

#### 『ファシリテーターとは』

…会議や集団活動において、参加者の個性や多様性を生かし、創造的で生産性の高い議論や学び、人間関係づくりを促進する人





石川 信雄議員

# ウクライナ避難民受け入れを

## 町長 県要望には名乗りを挙げている

**石川** ロシアのウクライナ侵攻が未だに終息していない。この戦争の全ての犠牲者に深く哀悼の意を表する。1989年のベルリンの壁崩壊により東西の冷戦は終わったものと受け止めていたが、今回のプーチン大統領の暴挙により、世界はややもすれば第三次世界大戦に突入してもおかしくない状況となってしまう。改めて町長の平和に対する気持ちを確認したい。

**町長** 憲法にも触れる事柄でもあるが、国防は国の事務であり、平和というか、飯綱町の代表としては町民が安心して本人の希望する生き方が家族・コミュニティで叶えられることと思っている。

**石川** 憲法9条は戦争の放棄、戦力の不保持、交戦の否認だと解釈している。日本国憲法は世界に誇れる平和憲法だと思っ

てい

る。長野県内では高森町が空手団体を通してウクライナ

避難民9名を受け入れた。飯綱町も受け入れては。町長 基本的には避難民、難民の扱いは国がしっかりとした対応をするべき。長野県では国の要請で900

があるのか。総務課長 今のところ、そのような通達は、国からはない。石川 県もクラウドファンディングを立ち上げるなどして支援を広げている。町も自主的に進んで支援していく決意はあるか。



▲世界平和を願う

**町長** 二の足を踏んでいるわけではない。要望があれば、受け入れを含め、金銭だけでなく物資も支援したい。また、即時停戦を考える良い機会だと思っ

ている。石川 実際に受け入れたとして、交流する中で平和への意識も再確認でき、相手の

ユース映像を見るなどしてなされていると思う。実際に避難民を受け入れるとなつたなら、全力でサポート、バックアップしていきたい。石川 町職員を高森町に派遣して研修させる予定はあるか。

**町長** 現状ではそこまでの必要性を感じていない。石川 役場庁舎内に募金箱を置くつもりはあるか。

**町長** 実は個人的には労働組合や課長会だと話をしたこともあるが、公の窓口を設置するまでには至っていない。ただ、積極的に受け入れや支援を考えている。

**石川** 町民憲章のなかに「互いに助け合い、思いやり的心をもった優しい町をつくりましょう」とある。先陣を切って、平和を希求する町（地方公共団体）だと宣言してはいかがか。結果的にほかの自治体にも波及するのでは。

**町長** 町民憲章はアピールするが、今回のウクライナ避難民受け入れについては宣言する予定は今のところない。

名程受け入れとのこと。要望があつて受け入れる意思があるかどうかについては町も名乗りを挙げている。

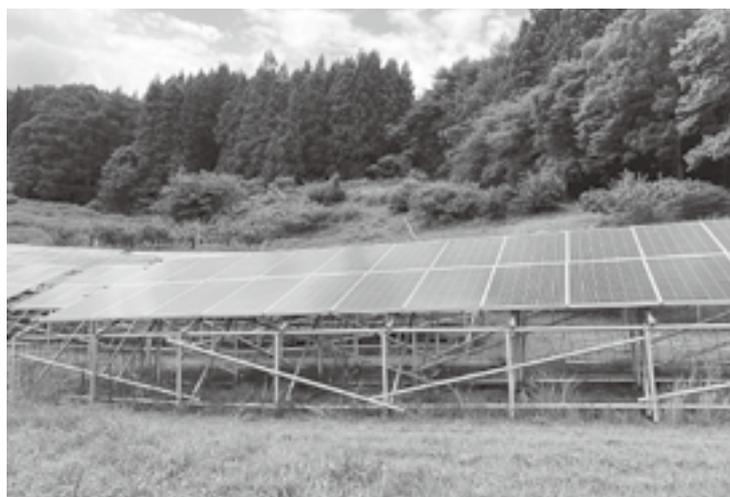
**石川** 避難民受け入れの際

して、国の特別交付税措置



伊藤 まゆみ議員

# 破損した太陽光パネルの対応は 町長 早期撤去を求めている



▲適切に維持管理されている太陽光パネル(小玉)

**伊藤** 昨年の大雪のため、破損している太陽光パネルの状況を把握しているか。  
**住民環境課長** 開発行為として申請されているもの1カ所、10kW以下が2カ所。  
**伊藤** 脱落やひびがはいっていないながら、放置されているパネルへの対応は。  
**住民環境課長** 協議して早期撤去を求めている。小さいものは把握していない。  
**伊藤** 町民から、有害物質の流出を懸念する声が寄せ

られているが。  
**住民環境課長** 鉛、ヒ素、カドミウム、セレンが含まれているが、製造のガイドラインがあり、基準値以下で製造されており、雨水での有害物質が漏れ、土壌を汚染する可能性はほばない。  
**伊藤** 大きく破損したときの対応は。  
**住民環境課長** 太陽光パネル事業は、経産省の許可事業となっており、固定価格買取制度に加入しないとできない。火災・地震保険への加入が定められている。  
**伊藤** 集中豪雨が多発しており、適切な雨水処理が求められるが。  
**住民環境課長** 事前設計書の提出時、トレンチ(浸透)で不足の時は調整池の設置を指導している。  
**伊藤** 太陽光パネル設置に対して条例整備を検討しているようだが。  
**副町長** 県の方針に沿い、富士見町、

信濃町の条例を参考にし、検討していく。

## 一般質問

物価上昇下での給食費負担は

**伊藤** 6月1日3000もの品目が値上げされ、今後、ロシアのウクライナ侵略の影響も出てくと予測される。給食費へ影響が出てくると思うが、対応は。



▲楽しい給食を早く…コロナ流行前の保育園での給食風景(2019年撮影)

**町長** 食材費に影響がはじめています。年度途中での給食費の引上げはしないで、不足分は公費で賄う。  
来年度は、教育委員会と協議し、慎重に検討したい。

## 子ども達の夏のマスク着用は

**伊藤** 今年も暑い夏と予報されており、熱中症が心配されている。保育園及び学校での子ども達のマスク着

用をどう考えているか。  
**教育長** 県のマニュアルも変化してきている。屋外や登下校時は着用しなくて良い。歌や調理実習は、できる範囲で行っていく。  
**伊藤** コロナ禍では、楽しみにしていることが規制されてきた。給食の黙食は、いつまでと考えているか。  
**教育長** 教育委員会でも、歯がゆい思いをしている。元通りになるには、慎重に見定めていきたい。

# 令和4年度 町村議会議員研修会

7月14日 キッセイ文化ホール 松本市



## 第一部 「町村自治体の防災・減災対策と災害時の議会議員の役割」

講師：鍵屋 一 氏

(跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科 教授)

講演を聞いて、非常時に慌てることなく適切な対応ができるように、普段から避難に備えて用意もしくは訓練しておくことが大事だと改めて認識しました。

「価値創造型」の防災というテーマについては、日常から人間関係、近所関係を良好にし、魅力ある地域をつくるのが、災害や危機にも強くなるとの結論でした。

飯綱町議会では、飯綱町議会基本条例の第9条に飯綱町議会災害対策本部設置を謳っており、また、飯綱町議会災害対策本部設置要綱は11条にわたって仔細に決められています。

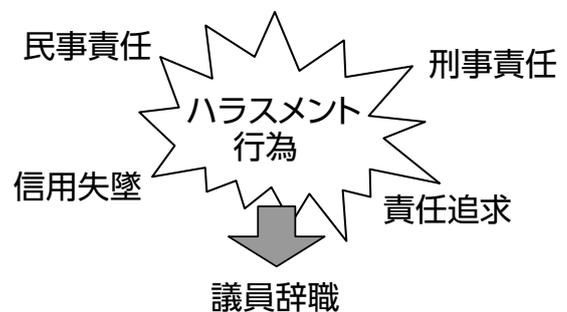


## 第二部 「議会におけるハラスメント」

講師：太田 雅幸 氏

(弁護士 元衆議院法制局第1部第1課長)

パワハラを始めに、実際の判例から相手に与える損傷の大きさとリスクの大きさを学びました。議会を取り巻く環境においては、議員と職員間だけでなく、議員間のハラスメントも存在し、法律上、首長および議員自身にハラスメント防止の義務が課されています。議員が起こしたハラスメントのリスクは、民事・刑事上の責任だけではなく、最終的には信用失墜から辞職に追い込まれることがあると学びました。さらにセクハラに起因する女性議員の減少は、無投票に繋がる可能性があることを認識しました。



### ～ ZOOM学習会を開催しました～

議会におけるデジタル技術活用の一環として、オンライン会議や研修会に備えたZOOM学習会を開催しました。

総務省の報告では、地方議会のデジタル技術の活用事例として、各種会議・視察のオンライン化など議会運営に関連するもの、また住民への情報発信・住民参加などの活用が紹介されています。

飯綱町議会は、今年度の重点的取組事項の一つに【議会ICT（情報通信技術）推進】を掲げており、今後も研究を進めてまいります。

## 議会だより第66号(3月定例会)

## モニターアンケートにお答えします

## 66号から

**Q** フリースクールの情報がほしいです。町に2つもあるのはとてもよいと思います。町外の利用が多いとお聞きしていますが、住民の殆どはフリースクールの存在を知らない方もいます。

**A** 「みんなの学校」と「OZ Field」があります。いずれのフリースクールも小中学生対象で、飯綱町の自然の中で子供を育てることを謳っています。でも手法は全く異なります。いずれのフリースクールも体験会を開いています。



▲「みんなの学校」ホームページは写真中のQRコード参照のこと

「みんなの学校」は、設立が2013年です。シュタイナー教育を主体としています。自然体験を始め、五感や手足を使う体験、芸術活動をたくさん取り入れ、生きる力や美しいものに向かう感性、手に宿る知性を育む教育をしています。児童13名(町内0名)、教師20名(非常勤含む)が、古町の古民家を借りて活動しています。



◀「OZ Field」ホームページは写真中のQRコード参照のこと

「OZ Field」は、設立が2021年です。「やりたいこと」「ひつようなこと」「みんなできりくむこと」の3つの柱で構成されたセミオーダー制のカリキュラムが特徴です。積極的にイベント協力等の対外活動も行っています。児童・生徒20名(町内6名)と教師5名(非常勤含む)が、いづなコネクトWESTの1階で活動しています。

**Q** 未来の納税者である子どもたちにわかりやすく予算を説明する「こども議会報」があってもいいのでは、と思う。今号の内容はこれだけではわからないと思うので、子どもが子どもに予算の内容を説明するようなそういうものを作ってはどうか。未来の有権者教育、町政への感心を深める。

**A** 未来の有権者に町政への関心を持ってもらうことは非常に大事だと思います。家庭内において町政の仕組みや思いを話題にさせていただくことも大切です。議会は、中学生議会に協力し、特集号を発行してきました。議会の傍聴にも地元高校生が訪れ、開かれた議会を提供しています。2015年には、住民参加による模擬議会も開催しました。議会としては今後も、このような場作りをしてまいります。

# 議会だよりモニターお疲れ様でした

2年間モニターを務めていただきありがとうございました。今回は、モニターに関していただいたご意見を載せます。

- ・モニターも最後となり気の利いた意見は書けませんでした。議会に対して関心を持つことができました。ありがとうございました。
- ・モニターもあってないような。必要ですか。いてもいなくてもいい、何のためのモニター。私たちがこれを書くことに時間のムダを感じる。
- ・モニターを2年間引き受けましたが、議会報を読むきっかけとなり、町政や議会の動きも分かるようになったと思います。
- ・2年間、モニターを務めさせていただきました。今まで流し読みしていた議会だよりを“立ち止まって読む”習慣ができました。人の意見に耳を傾けることができました。毎回下手な文章を提出することで精いっぱいでしたが、お世話になりました。ありがとうございました。私の中の小さな小さな一歩になったと思っています。
- ・2年間の議会広報モニターの委嘱を受けて長いと思っていたが、あっという間に任期満了が近づいた。色々勉強させていただきありがとうございました。

## 新モニター紹介

荒井照美	上赤塩	徳永容子	深沢
飯森葉子	福井団地	外山秀子	深沢
池田智子	普光寺東部	中嶋京子	福井
井澤美加	野村上	西林浩史	普光寺西部
岩井美智子	牟礼	服田昭男	牟礼
大川松美	上赤塩	藤沢史穂子	下赤塩
太田裕也	毛野	古谷由美子	坂上
岡村恵子	栄町	保坂宗春	普光寺西部
蟹澤純子	福井	星野洋子	北川
木賀田則夫	西黒川	松木洋二	福井団地
倉島宣雄	東黒川	松橋理絵	松ノ木
小池廣美	高坂	松橋湧太郎	普光寺中部
小林正博	田中	水島洋喜	毛野
近藤正	西黒川	三ツ井善文	川谷
坂口ゆみ	毛野	宮澤千秋	福井団地
佐藤美奈子	福井団地	宮本隆之	川北東部
高橋吉郎	普光寺西部	村田政敬	東高原
高橋きよ	地蔵久保	村松幸好	町
竜野俊介	御所之入	(五十音順・敬称略)	
田宮邦彦	牟礼	他匿名希望5名	
土倉栄二	野村上		

## 新たに議会だよりモニター44名

第8次のモニターが決定しました。  
 任期は2022年8月から2024年7月までです。  
 モニターの皆さんからいただいたご意見は、議会だより  
 に活かすほか、議会だよりでお答えしたり、議会での政策  
 提言につなげてまいります。

# あの時の あの質問 どうなった??

～令和3年9月・12月定例会一般質問答弁の進捗状況より～

【令和3年9月】

**Q** 窓口サービスのネットワーク推進を。

**A** 住民票等のコンビニ交付は維持経費が高額であるため、マイナンバーカードを活用したオンライン申請等を検討する。



**対応**

国のデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し（以下、デジ<sup>デン</sup>田交付金）、令和5年1月からオンラインによる住民票等の証明書交付の本稼働を予定。

【令和3年12月】

**Q** 町の魅力を町内外に広く発信することが重要。方策は。

**A** 欲しい人に欲しい情報を発信する方式（プッシュ型）のメディア導入を研究していく。



**対応**

デジ<sup>デン</sup>田交付金を活用し、令和5年1月からプッシュ型通知機能を備えたスマホ向け町公式アプリ<sup>\*</sup>を稼働予定。

（※アプリ:アプリケーションの略。特定の機能や目的をもって作られた専用のプログラム）

【令和3年12月】

**Q** 集落創生事業における地域おこし協力隊の活用を。

**A** 旧村で1人ずつ地域おこし協力隊を置くよう検討する。

**対応**

令和4年7月から集落活性の業務を担う地域おこし協力隊2人を募集予定。



あの質問どうなった

# 新しい町づくりへ 私の提案

第27回

## 出会いを大切にしたい



宮本 武義さん  
(毛野)

牟礼駅前商店街で古着とバイクの店を営んでおります。

私は旧三水村の出身で町内の高校を卒業した後、上京し服飾の専門学校に進学しました。

その後、アパレルに勤め10年余りの経験を積み飯綱町に帰郷しました。そして、1年半前に念願であった自分の店を開業しました。町内はもちろん県外からもたくさんの方にご来店いただいております。コロナ禍でなかなかその場に行けなかったりなどの事情もありますが、対面でしかできないコミュニケーションというものはとても良いものがあります。

ただ、物を買うに行くだけではなく共通の趣味や人が集まれる場所。そこには必ず新しい出会いが生まれる。そんな店や場所がもっと飯綱町に増えればいいなと思っております。

## Home



石川 陽子さん  
(福井)

久しぶりに故郷に帰ってきました。50年弱の人生の7割を、3年定住することなく街や家を変え続け、以前は考えもしなかった「故郷を終の住処に」と思い立ちました。

時の流れと共に、私にも変化がありました。それと同じように、今の飯綱町も数年前とは違う印象を見せます。相変わらずの面の横で、たまに新しい顔を見せ、時代と共に成長していくのは自然な姿であり良いものです。

これからも一緒に年を重ねていきますが、私も町も適当に変わっていきければと思います。適当とは、ある状態や目的などに、ほどよく当てはまること。そして町も私も、人や環境の変化を受け入れられる寛容さを持ってほしい、またそうでありたいと願います。

## 飯綱町を日本一のキャンプ場の町に



田中 洋満さん  
(奈良本)

私は今、地元である飯綱町奈良本地区にキャンプ場を開拓しています。主に休耕地(田んぼ)や、山林を利用する事で、景観が良くなり、山林に人が入る事で獣害の減少にもつながればと考えています。が、一番の目的はやはり日本中の方々にこの飯綱町を知ってもらいたいということなんです。新型コロナウイルスから約2年半が経ち、時代もガラッと変わりました。しかしこれをピンチではなくチャンスと考え、コロナ後、空前のブームとなったキャンプを一つの手段として、たくさんの方に飯綱町を知ってもらい、そして飯綱町の素晴らしさを知ってほしいと思います。また、キャンピングイベント等を行うことにより、人と人のつながりが生まれ、更なる発展につなげていきたいと考えています。

